

9. 中国（地域別調査機関：公益財団法人中国地域創造研究センター）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (中国)	◎	高級レストラン（事業戦略担当）	・まん延防止等重点措置の解除で景気が良くなることを期待する。
	◎	競艇場（企画営業担当）	・2か月後にはG1競走、3か月後にはSG競争の開催で十分な売上が確保できる。
	○	商店街（理事）	・3回目のワクチン接種の進展で、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、景気はやや良くなる。
	○	一般小売店〔靴〕（経営者）	・例年2月は売上が下がり、3～4月には回復する。まん延防止等重点措置が解除されれば消費行動の活発化が期待できる。
	○	一般小売店〔印章〕（経営者）	・例年、年度替わりで忙しくなる。
	○	百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大が徐々に落ち着き始めており、来客数の増加に期待する。季節が変わり様々な需要があるため、来客数の増加や売上上昇が見込める。
	○	百貨店（売場担当）	・季節が良くなる2～3か月後は、現状のまま新型コロナウイルスの新規感染者数が推移しても、客にある程度の購買意欲は出てくる。今月が底であると考える。
	○	スーパー（店長）	・ここ2～3か月の来客数は前年と変わらないが、購入単価は上向いているので、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着けば、景気は回復する。
	○	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスがピークアウト、地域行事が復活し、行楽シーズンになれば、景気はプラスへ動く。飲食については、まだ中食需要が続くと思われるが、食品部門は好調が継続する。
	○	スーパー（総務担当）	・今月は雪の日が多かったが、気候が良くなり、新年度に向けて需要も高まれば景気は持ち直す。
	○	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスが終息して、人の動きが活発になる。
	○	コンビニ（支店長）	・来客数の回復は新型コロナウイルス次第である。
	○	コンビニ（副地域ブロック長）	・前年比で考えると、新型コロナウイルス感染症が終息すれば来客数の増加が期待できる。以前と比べ、人々が新型コロナウイルスに関して楽観的になっており、これからスポーツイベントなどが開催されれば、景気回復も期待できる。
	○	家電量販店（販売担当）	・決算期、新生活シーズンになれば販売量が増加する。
	○	乗用車販売店（営業担当）	・生産状態が改善されてくると、新車登録が進み、売上が立つため、景気はやや良くなる。
	○	乗用車販売店（店長）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が落ち着いてくれば景気は上向く。
	○	その他専門店〔時計〕（経営者）	・気温が上昇すれば来客数が増加する。
	○	その他専門店〔和菓子〕（経営者）	・ワクチン接種が進めば来客数が増加する。
	○	その他専門店〔土産物〕（経営者）	・県の観光振興策が始まるため、観光客数の増加が見込まれる。
	○	一般レストラン（店長）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少すれば、来客数が増加する。
○	バー（経営者）	・新型コロナウイルスが終息すれば来客数は増加する。	
○	観光型ホテル（副支配人）	・まん延防止等重点措置が解除になり営業を再開すれば来客数は増加するが、通常の利用人数になるまではまだ時間が掛かる。	
○	都市型ホテル（企画担当）	・客の消費意欲は高いので、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着けば段階的に動きが出てくる。	
○	都市型ホテル（企画担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の終息と3回目のワクチン接種の効果で景況感が戻る。企業の周年祝賀会などの先行受注が入ってきており、先延ばしになっていた企業、団体の宴席などの復活が期待できる。	
○	都市型ホテル（総支配人）	・3回目のワクチン接種並びに経口治療薬の普及で新型コロナウイルスの新規感染者数や重症患者数が減少し、客の自粛が緩和することを期待する。	
○	旅行代理店（支店長）	・Go To Travelキャンペーン等旅行関連施策の再開がポイントとなるが、需要喚起を期待したい。	
○	タクシー運転手	・まん延防止等重点措置が解除されたことで夜の人通りが増えてきているので景気は良くなる。	

<input type="radio"/>	タクシー運転手	・まん延防止等重点措置が解除されれば景気は良くなる。
<input type="radio"/>	通信会社（経理担当）	・3回目のワクチン接種により新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、少しずつでも景気が良くなることを期待する。
<input type="radio"/>	テーマパーク（営業担当）	・現在新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により新規感染者数が増加しているが、2～3か月経過すれば現状よりは収まってくる。
<input type="radio"/>	テーマパーク（業務担当）	・ウィズコロナの生活様式が定着し、景気はやや良くなる。
<input type="radio"/>	観光名所（館長）	・ワクチン接種が進み、まん延防止等重点措置が解除になれば、人の動きが出てくる。
<input type="radio"/>	ゴルフ場（営業担当）	・まん延防止等重点措置が解除になり、ワクチン接種が進めば予約状況は回復する。
<input type="radio"/>	住宅販売会社（営業担当）	・まん延防止等重点措置が解除されれば、人流は活発になる。
<input type="checkbox"/>	商店街（代表者）	・すぐに客足が戻るような雰囲気ではない。
<input type="checkbox"/>	商店街（代表者）	・売上が減少する懸念がある。
<input type="checkbox"/>	商店街（代表者）	・まん延防止等重点措置は解除されたが、新型コロナウイルスオミクロン株の終息はまだ先のようなので、景気回復は当分見込めない。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔茶〕（経営者）	・景気の先行きは不透明である。
<input type="checkbox"/>	百貨店（経理担当）	・消費税増税や新型コロナウイルスの感染拡大などが、引き続き、景気回復にマイナスの影響を与えている。ガソリン価格が高騰し、今後、食料品などの値上げも予定されているので、景気は良くなる見込みはない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスが終息しても、客が以前のライフスタイルに戻らないため、ハイブランドだけは売上を確保するが、他の商品に関しては百貨店離れが進む。
<input type="checkbox"/>	百貨店（営業担当）	・3回目のワクチン接種が始まり、新型コロナウイルスの感染が一旦落ち着くであろうが、まだ景気の先行きは不透明である。客の外出頻度が高まっても、客の衣料品などの購買意欲はすぐに回復はしない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（外商担当）	・当面は新型コロナウイルスの感染状況が落ち着く気配がない。ワクチン接種が行き渡り、日々の新規感染者数が減少してくるまでは大幅な景気回復は見込めない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（営業企画担当）	・新型コロナウイルスの終息がみえなければ、来客数が回復する見込みはない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・客単価が上昇し、来客数が増加しない傾向が続くため、景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・客がまとめ買いをする傾向が続くので、来店頻度は低いままである。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・大きな景気対策もないので売上増加は見込めない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（業務開発担当）	・家庭での節約は食料品からとなっている。余分な商品購入や衝動買いはなくなってくる。
<input type="checkbox"/>	スーパー（営業システム担当）	・値上げの報道が多く、客の買い控えが発生する。景気の悪化に関する報道が続いているため、値上げ前の駆け込み需要もさほど発生せず、最低限の購入になる。
<input type="checkbox"/>	スーパー（販売担当）	・現状で2～3か月先の景気が良くなる材料はこれといって見つからない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（代表）	・政府が新型コロナウイルスの感染症法の分類を第2類から第5類に変えることに消極的であるため、今後も新型コロナウイルスの新規感染者数が増えるたびにまん延防止等重点措置を適用する可能性がある。加えて、ウクライナ問題が深刻化すれば、客の購買意欲は低下する。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着かないと景気回復は見込めない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの感染が依然として続いており、2～3か月先には終息しているというのは希望的観測でしかない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（企画担当）	・2～3か月先は新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、売上が上昇する可能性がある。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業担当）	・決算時期ではあるが、新規来客数は少ない。半導体不足や海外からの部品入荷遅れによる納期遅延の影響が大きく、客の決断を鈍らせる。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が収まりつつあるが、来客数が増える見込みはない。

□	その他専門店 [布地] (経営者)	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少し、景気は少し良くなる。春が近づき、人の心も少し明るくなる。
□	その他小売 [ショッピングセンター] (管理担当)	・新型コロナウイルスの新規感染者数が高止まり状態であるが、新生活に向けて客の購買意欲が高まる。感染状況が落ち着いていくことで安心感が出て、客の財布のひもが緩めば景気は少し良くなる。
□	一般レストラン (経営者)	・全く数字が読めない。新型コロナウイルスの動向次第では、景気がかなり下振れする。
□	一般レストラン (経営者)	・新型コロナウイルスの影響で、来客数を維持することが困難になる。また、ガソリン価格上昇や食料品の値上げがマイナスの要因となり、今後は苦戦が予測される。
□	観光型ホテル (営業担当)	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着きつつあるが、先行予約がなく苦しい状況が続く。
□	旅行代理店 (経営者)	・ワクチン接種で新型コロナウイルス感染症は終息の方向に向かうが、海外情勢が落ち着かないと景気回復は難しい。
□	放送通信サービス (総務経理担当)	・新型コロナウイルスの影響は一旦落ち着いている。ここ2～3か月は利用料金の延滞状況に変化はない。
□	通信会社 (企画担当)	・客の消費感覚が切り替わるには、まだ時間を要する。
□	通信会社 (販売企画担当)	・新型コロナウイルスの影響が長引き、客は外出を控える傾向が続く。
□	通信会社 (工事担当)	・客の動向から、景気に変化はない。
□	観光名所 (管理担当)	・新型コロナウイルスの感染状況の先行きは不明で、Go To Travelキャンペーンの再開も見通せない。
□	設計事務所 (経営者)	・ロシア軍のウクライナ侵攻の影響で、ガソリン価格の高騰に拍車がかかる。今後も建築資材のコスト等への影響が続く。
□	設計事務所 (経営者)	・新型コロナウイルス感染症はしばらく終息しそうになく、建築物価は上昇して、景気に変化はない。
□	設計事務所 (経営者)	・しばらくは現状が続き、加えて住宅設備機器の納期遅延などにより鈍い動きとなる。
□	住宅販売会社 (従業員)	・新型コロナウイルス終息の気配はなく、景気浮揚の期待感が持てない。
▲	一般小売店 [食品] (経営者)	・世界経済の不安定さに伴う石油や食料品の値上げで、商品仕入価格が上昇し、客の節約意識は一段と高まる。
▲	百貨店 (外商担当)	・新型コロナウイルスに加え、燃料を始めとした商品の値上げで客の様子に明るさがみられず、中所得者以下、低年齢層の購買意欲が今後も減退する。
▲	スーパー (財務担当)	・3回目のワクチン接種で新型コロナウイルスの新規感染者数が減少すれば、客の外出機会が増えるが、内食需要が低下して売上が減少する。
▲	コンビニ (エリア担当)	・県内で新型コロナウイルスオミクロン株が市中感染しており、景気が良くなるとは考えられない。ウクライナ情勢でガソリン価格の値上げの予定があり、景気は悪くなる。
▲	衣料品専門店 (経営者)	・現内閣になり株価が下がり、多くの不満を耳にする。経済政策の立て直しが必要である。
▲	衣料品専門店 (経営者)	・コロナ禍でいろいろな行事が中止になり、客が着物を着る機会が減少しているため、今後も景気はやや悪くなる。
▲	家電量販店 (店長)	・新型コロナウイルスの影響で来客数は減少する。
▲	乗用車販売店 (営業担当)	・新型コロナウイルス感染症の終息がみえず、客の収入も減少し、景気は悪くなる。
▲	乗用車販売店 (店長)	・ガソリン価格が上昇傾向なので、燃費など維持費に重点を置く客は他社の製品に流れる。年度末にかけて新規来客数が増加することはない。
▲	乗用車販売店 (業務担当)	・新型コロナウイルスの先行きが不透明な状況で、1～3月の増販期が終わってしまう。また、景気が好転する材料が余り見受けられないため、景気はやや悪くなる。
▲	乗用車販売店 (統括)	・新型コロナウイルスと新車の生産量減少の影響で、販売不振が続く。
▲	住関連専門店 (営業担当)	・新型コロナウイルスやロシアのウクライナ侵攻が景気に影響する。
▲	タクシー運転手	・まん延防止等重点措置が解除されて観光客数が徐々に回復すれば、駅周辺の乗客数は増加する可能性があるが、客の動きがすぐには戻らない。
▲	タクシー運転手	・ワクチン接種の影響で徐々に客の利用率が上昇するが、景気回復は難しい。
▲	通信会社 (営業担当)	・新型コロナウイルスが所得に与えるダメージが蓄積しており、景気好転の気配はない。

	▲	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で来客数が減少したままで、先行きが読めないため、景気はやや悪くなる。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの影響で来客数が減少し、景気が厳しい状況は続く。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、まん延防止等重点措置が解除されないと人の動きは戻らない。
	×	一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	・ガソリン価格や物価が上昇し、景気回復は難しい。
	×	一般小売店〔洋裁附属品〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で景気は回復しない。
	×	百貨店（販売計画担当）	・個人所得の伸び悩み、ウクライナ情勢の悪化、株価の変動で景気回復は望めない。
	×	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスが終息すれば、巣籠り需要がなくなり、通常の販売量に戻る。
	×	スーパー（販売担当）	・新型コロナウイルス終息が見通せない状況では、来客数の好転はなく、販売量の苦戦は続く。特に輸入品などで物流面の不安定さが改善されておらず、在庫不足による機会損失が著しい状況が続く。
	×	コンビニ（エリア担当）	・ロシア軍のウクライナ侵攻で燃料の価格高騰が更に加速する。
	×	自動車備品販売店（経営者）	・新型コロナウイルス以外にガソリン価格の高騰、いろいろな商品の値上げなど、景気回復に良い要素は全くないため、今後、景気は悪くなる。
	×	自動車備品販売店（経営者）	・食料品、石油製品、タイヤ、鉄アルミなど生活必需品の値上げで客の買い控えが発生すれば、更に経済が悪化する。また、人件費の高騰による経営圧迫や休日の増加で生産性が悪化し、中小企業は非常に厳しい状況となり、倒産企業が増える。
	×	一般レストラン（経営者）	・ロシアのウクライナ侵攻の影響でガソリンや様々なモノの価格が上昇するため、景気は良くならない。
	×	通信会社（広報担当）	・低価格の商品を希望する客が多く、少しでも値段が高いと商談にならない状況が続く。
	×	美容室（経営者）	・客の自粛行動が当たり前になり、以前のような状況に戻るには時間が掛かる。
	×	住宅販売会社（営業所長）	・住宅単価や土地単価等のコスト上昇が付加価値提案では説明できない領域に入っている。
企業 動向 関連  (中国)	◎	輸送用機械器具製造業（経営者）	・今後も繁忙期が続く。
	◎	輸送業	・客からの受注が増えている。
	○	農林水産業（従業員）	・まん延防止等重点措置が解除されれば、飲食店の自粛もなくなるので、景気が多少改善される。
	○	繊維工業（財務担当）	・新型コロナウイルス感染症の拡大が落ち着いてくることで、経済活動が徐々に活発になる。
	○	輸送業（業務推進担当）	・コロナ禍のピークは抜けた感触がある。ピーク時の企業努力が報われ始める。
	○	通信業（営業企画担当）	・3回目のワクチン接種などで現状よりも状況が良くなる。また、政府のデジタルインフラ強じん政策がデータセンター事業の後押しとなることや5G関連の市場が拡大することで、データ量がますます増大し、データセンターやクラウド、ICT関連の市場の役割や重要性が高まる。
	○	不動産業（総務担当）	・賃貸住宅の需要時期であり、景気は良くなる。
	□	食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で催物の中止など経済活動が大きく様変わりしており、商機を見付け出す必要がある。物価上昇で市場の動きは鈍化する。
	□	食料品製造業（総務担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株が猛威を振るい続ければ、外食産業の動きが悪くなり、厳しい経営状況が続く。
	□	木材木製品製造業（経理担当）	・値上げとコスト高の状況のせめぎ合いによるが、インフレによってどこまで実質利益を確保できるかが今後の課題となる。
	□	化学工業（総務担当）	・原燃料価格の高止まりで、景気回復の要素が見つからない。
	□	窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	・大口案件の生産は当面継続する見込みである。鉄鋼業向け生産も高い水準が続きそうなので多忙な状況が続く。
	□	鉄鋼業（総務担当）	・受注量の見通しに余り陰りはみえず、現行水準が予測される。
	□	鉄鋼業（総務担当）	・半導体不足が継続するため、景気は変わらない。

	<input type="checkbox"/>	一般機械器具製造業（総務担当）	・受注量や販売量の動きに変化はない。
	<input type="checkbox"/>	建設業（総務担当）	・国際紛争や新型コロナウイルスまん延などによる資源や資材の不足がこの先しばらくは継続する。
	<input type="checkbox"/>	輸送業（総務・人事担当）	・新型コロナウイルス及びウクライナ情勢などの影響で、景気の先行きが見通せない。
	<input type="checkbox"/>	金融業（融資企画担当）	・半導体不足に原油価格高騰が加わり、今後も地元自動車メーカーの国内生産は伸び悩む。このため、系列の地元部品メーカーの受注量と操業も中低位が継続する。
	<input type="checkbox"/>	金融業（貸付担当）	・新型コロナウイルス感染症の終息への動きが鈍く、取引先の収支改善には時間を要する。
	<input type="checkbox"/>	広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が継続しており、景気に変化はない。
	<input type="checkbox"/>	会計事務所（経営者）	・新年度に向けて新規案件が動き出す一方、ウクライナ情勢による株価下落等が客に与える心理的影響がマイナスに作用することが懸念される。
	<input checked="" type="checkbox"/>	化学工業（総務担当）	・新型コロナウイルスの景気への影響度は徐々に低下してくるであろうが、今後の国際情勢の悪化が景気減速につながる懸念がある。
	<input checked="" type="checkbox"/>	非鉄金属製造業（業務担当）	・電子材料関係の受注量は若干の低下が見込まれる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	金属製品製造業（総務担当）	・受注量は現状とほぼ変わらない見込みである。鉄原材料価格の高騰が更に進む可能性があることに加え、政情不安による原油価格上昇の懸念もあり、採算面ではより厳しくなる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	電気機械器具製造業（総務担当）	・ウクライナ問題による物価上昇等、新たな懸念材料もあるため景気の先行きは不透明である。
	<input checked="" type="checkbox"/>	輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	・物流網の混乱や半導体不足の解消時期が不透明である上に、大きな地政学リスクも顕著になり、これらは少なからず景気に悪い影響を及ぼす。
	<input checked="" type="checkbox"/>	建設業（経営者）	・受注の先行きが不透明で、材料価格も高騰している。また、新型コロナウイルスの影響が続き、近いうちにウクライナ情勢も景気に影響を与える。
	<input checked="" type="checkbox"/>		
	<input checked="" type="checkbox"/>	*	*
雇用 関連 (中国)	<input checked="" type="checkbox"/>	—	—
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（経営戦略担当）	・新型コロナウイルス第6波のピークアウトが進み、景気は回復する。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（副支店長）	・年度明けに派遣ニーズが増加傾向になる。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきたが、世界状況が不安定になってきており、マイナス要因の方が強くなっている。引き続き景気の状態は変わらない。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（支社長）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況がピークアウトしても、新しい変異株の流行で、現在と同様の状況が起きるため、景気は変わらない。
	<input type="checkbox"/>	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・ガソリン、食料品の更なる値上げによって消費の鈍化が懸念される。3回目のワクチン接種が進み、新型コロナウイルス第6波の感染が終息することが望まれる。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所（雇用関連担当）	・県内では新型コロナウイルスオミクロン株感染はまだ落ち着いていないため、景気は変わらない状況が続く。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所（事業所担当）	・人材不足で活発に求人を出す産業があるものの、まん延防止等重点措置の適用延長の影響で新規求人数が減少している産業も多い。今後の感染状況にもよるが、当分の間、景気は変わらない。
	<input type="checkbox"/>	民間職業紹介機関（人材紹介・派遣担当）	・半導体不足の影響で製造業が引き続き採用を見送っており、製造業に就きたくても希望がかなわない求職者が増える。
	<input checked="" type="checkbox"/>	求人情報誌製作会社（広告担当）	・新型コロナウイルス感染症拡大の影響は時間が経過するごとに更に多大な影響を及ぼす。どこまで持ちこたえられるか、一時的にしのいでも、現状が続く限り経済的な危機は変わらない。
	<input checked="" type="checkbox"/>	職業安定所（所長）	・新型コロナウイルス感染症の終息を期待して、宿泊業や飲食サービス業で求人数は増加傾向にあるが、新型コロナウイルスオミクロン株の急拡大で今後の動向が大いに心配される。

▲	民間職業紹介機関（職員）	・食品の値上げに加え、ロシアのウクライナ侵攻によるエネルギー確保の影響で懸念される一般家庭への価格転嫁に所得上昇が追い付いていない状況になる。客は貯蓄優先で消費に金が回らず、負のスパイラルから脱せられない状況となる。
▲	学校〔大学〕（就職担当）	・ロシアのウクライナ侵攻の終息がいつになるのか不透明で、景気は悪化する。
▲	学校〔短期大学〕（進路指導担当）	・新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢が企業活動に与える中長期的な影響などから、今後の景気回復は見込めない。
▲	その他雇用の動向を把握できる者	・新型コロナウイルスの新規感染者数が高止まりしている。また、原油高、半導体不足、ウクライナ情勢等、不安定要素が多い状況となっており、景気回復は難しい。
×	—	—